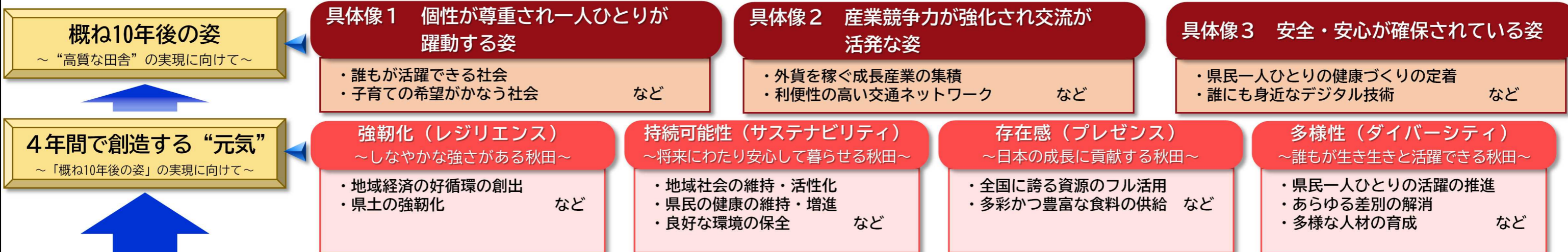


# 「新秋田元気創造プラン」の概要について

【推進期間】2022年度～2025年度（4年間）

【構成】

## 人口減少問題の克服に向けて



### 選択・集中プロジェクト

重点戦略に基づく取組のうち、特に注力すべきものとして行政資源を効果的・効率的に投入するもの

#### 【プロジェクト1】賃金水準の向上

- 〔プロジェクトの方向性〕
- ① 労働生産性の向上
  - ② 県内就業率の向上

#### 【プロジェクト2】カーボンニュートラルへの挑戦

- 〔プロジェクトの方向性〕
- ① 脱炭素社会に対応した産業の構築
  - ② 森林・木材によるCO<sub>2</sub>吸収・貯蔵機能の強化
  - ③ 日常生活等に伴う温室効果ガスの排出の削減

#### 【プロジェクト3】デジタル化の推進

- 〔プロジェクトの方向性〕
- ① デジタル人材の育成
  - ② 暮らしと産業のデジタル化
  - ③ 行政のデジタル化

### 重点戦略（時代の潮流や社会経済情勢の変化に対応するために重点的に取り組むべき政策）

#### 戦略1 産業・雇用戦略

- 〔目指す姿〕
- 1 産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化
  - 2 地域資源を生かした成長産業の発展
  - 3 歴史と風土に培われた地域産業の活性化
  - 4 産業振興を支える投資の拡大

#### 戦略2 農林水産戦略

- 〔目指す姿〕
- 1 農業の食料供給力の強化
  - 2 林業・木材産業の成長産業化
  - 3 水産業の持続的な発展
  - 4 農山漁村の活性化

#### 戦略3 観光・交流戦略

- 〔目指す姿〕
- 1 「何度でも訪れたくなるあきた」の創出
  - 2 「美酒・美食のあきた」の創造
  - 3 文化芸術の力による魅力ある地域の創生
  - 4 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現
  - 5 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築

#### 戦略4 未来創造・地域社会戦略

- 〔目指す姿〕
- 1 新たな人の流れの創出
  - 2 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現
  - 3 女性・若者が活躍できる社会の実現
  - 4 変革する時代に対応した地域社会の構築
  - 5 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成
  - 6 行政サービスの向上

#### 戦略5 健康・医療・福祉戦略

- 〔目指す姿〕
- 1 健康寿命日本一の実現
  - 2 安心して質の高い医療の提供
  - 3 高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化
  - 4 誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現

#### 戦略6 教育・人づくり戦略

- 〔目指す姿〕
- 1 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成
  - 2 確かな学力の育成
  - 3 グローバル社会で活躍できる人材の育成
  - 4 豊かな心と健やかな体の育成
  - 5 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化
  - 6 生涯にわたり学び続けられる環境の構築

### 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・検査・医療提供体制等の確保
- ・県内経済の下支え
- など

### 基本政策（時代の潮流や社会経済情勢の変化を踏まえつつ、着実かつ継続的に進めていくべき政策）

防災減災・交通基盤

生活環境  
(交通安全・生活衛生など)

自然環境  
(水質保全対策など)

### “元気”を創造するための施策

#### 【施策の推進に当たって】

- ・県民の意見の反映
- ・多様な主体との役割分担と協働
- ・政策評価制度による進行管理
- ・行政改革の推進

## 戦略1 産業・雇用戦略

新秋田元気創造プランの取組状況等について

## 目指す姿1 産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 経営革新計画の策定・承認を通じて、信用保証の特例や補助金優遇措置の活用を支援
- ② 新たなビジネスの創出等に向けて、県内大学や企業等が連携して行う研究開発や実証・社会実装の取組を競争的資金の提供により支援
- ③ 県内企業の経営課題と人材ニーズを明確化し、プロフェッショナル人材とのマッチングを支援 など

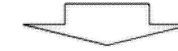
## 【主な成果指標】

産業技術センターにおける技術指導・相談件数 2,769件(2020年) → 3,555件(2022年)  
 プロフェッショナル人材戦略拠点を通じた人材マッチング成約件数  
 55件(2020年) → 91件(2022年)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

## 起業の促進について

- 経営規模の拡大や人材流出防止の効果も期待できる「社内ベンチャー」を積極的に推進していくこと。



## 商業・サービス産業経営革新事業 16,440千円

自社の強みやICT等を活用した新事業の創出、生産性の向上等の経営革新に向けた取組を支援する。社内ベンチャーによる取組も対象にすることとし、加点措置を設けることで推進を図る。

## 目指す姿2 地域資源を生かした成長産業の発展

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 洋上風力発電事業者と関係団体の調整等を行い、全国初の本格的な洋上風力発電所の商業運転が開始したほか、再エネ海域利用法に基づく本県沖の促進区域が増加
- ② デジタルプラットフォームを活用し、医療ニーズと企業シーズのマッチングを支援 など

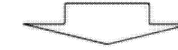
## 【主な成果指標】

風力発電設備の導入量(累積) 648,549kW(2020年) → 794,619kW(2022年)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

## 情報関連産業の振興について

- 首都圏等のデジタル人材から県内ICT企業がアドバイス等を得られる体制を整備すること。
- 県内情報関連産業のデジタル人材を県内に定着させ、育成していくため、継続的にスキルアップ等に要する経費の支援を行うこと。



## デジタル牽引企業創出支援事業（県内ICT人材育成支援事業） 6,000千円

県内ICT企業のデジタル人材育成に係る研修や資格取得等の経費の一部を助成する。

## 目指す姿3 歴史と風土に培われた地域産業の活性化

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 「第39回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」を県内開催し、本県伝産品の魅力を全国発信
- ② 「未来へ伝えたい秋田のインフラ50選」をとりまとめて公表し、建設産業の魅力をアピール
- ③ レアメタル等の回収・再資源化の新ビジネスを創出するため、企業の研究・設備投資等を支援 など

## 【主な成果指標】

県内建設業に就職した新規高校卒業者数 152人(2020年) → 154人(2022年)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

## 伝統的工芸品等産業の振興について

- 伝統的工芸品産業を次代に引き継いでいくため、将来を担う世代等に向けた情報発信等を積極的に行うこと。



## 伝統的工芸品等振興事業（伝統的工芸品商品開発インターンシップ事業） 2,694千円

伝統的工芸品に興味を持つ県内外の学生等を対象に、産地での工房体験や商品開発ワークショップを開催するほか、商品開発ミーティングの開催・運営、産地が実施する試作品製作やテストマーケティング等を支援する。

## 目指す姿4 産業振興を支える投資の拡大

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 若者や女性の県内定着を図るため、情報関連産業の企業誘致を実現
- ② 輸送機関連企業の企業立地を推進し、県南地域での関連企業集積が進展
- ③ 洋上風力発電の拠点形成に向け、埠頭用地の拡張整備を実施 など

## 【主な成果指標】

企業の誘致件数及び誘致済企業等による施設・設備の拡充件数  
 25件(2020年) → 32件(2022年)  
 洋上風力発電における港湾の利用件数(累積) 2件(2020年) → 2件(2022年)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

## 企業立地等の促進について

- 働く人の暮らしやすさがイメージできるように工業団地とその通勤圏の状況等も含めて紹介するなど、企業誘致に係る情報発信方法を工夫すること。
- 誘致済企業と県内企業とのマッチングを進め、事業の連携による地域経済への波及効果が実感できる取組を推進すること。



## 産業集積投資促進事業（誘致済企業フォローアップ事業） 13,630千円

企業訪問専門員を中心として誘致済企業のフォローアップを行い県内企業とのマッチングを支援するとともに、新たに誘致した企業の人材確保のため県広報や新聞により県内及び隣接県を対象に立地企業のPRを行う。



秋田湾産業新拠点

## 戦略2 農林水産戦略

新秋田元気創造プランの取組状況等について

## 目指す姿1 農業の食料供給力の強化

## 【令和4年度取組状況】

- ① 新規就農者を確保・育成するため、経営・技術指導や営農開始に必要な機械等の導入支援を実施
- ② 園芸・畜産の生産基盤を強化するため、機械・施設等の整備や家畜導入を支援
- ③ 「サキホコレ」のデビューに合わせたプロモーションを展開し、秋田米全体のブランド力を強化 など

## 【主な成果指標】

新規就農者数 252人(2020年) → 265人(2021年)  
 秋田牛の出荷頭数 2,844頭(2020年) → 2,972頭(2022年)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

マーケットに対応した複合型生産構造への転換について

- 生産性の向上やブランド力の強化により、収益性の高い園芸・畜産のトップブランド産地の形成を進めること。

夢ある園芸産地創造事業 462,354千円

複合型生産構造への転換を加速するため、市町村の「園芸振興計画」に基づく産地化に向けた取組を支援する。

夢ある畜産経営ステップアップ支援事業 124,180千円

複合型生産構造への転換を加速させるため、畜産経営体が行う規模拡大や省力化に必要な家畜の導入や機械・施設等の整備を支援する。

## 目指す姿2 林業・木材産業の成長産業化

## 【令和4年度取組状況】

- ① 再造林の促進を図るため、低コスト施業を行う林業経営体への造林地集積を強化
- ② 新規就業者を確保するため、無料職業紹介所による情報発信や就業先の斡旋等を支援 など

## 【主な成果指標】

再造林面積 332ha(2020年) → 561ha(2022年)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

再造林の促進について

- 林業・木材産業に関わる業界と一体となって再造林を強力に促進するとともに、低コスト・省力造林技術の普及拡大を進めること。

カーボンニュートラルに挑戦する再造林拡大事業 100,656千円

伐採後の確実な再造林の実施による森林の若返りを図り、将来にわたる二酸化炭素の吸収量を確保するため、造林地集積促進への取組支援やスギ採種圃の造成、スマート林業の推進に向けた研修等を実施する。

## 目指す姿3 水産業の持続的な発展

## 【令和4年度取組状況】

- ① 漁業生産の安定化を図るため、蓄養殖の現地実証に取り組む漁業者グループを支援
- ② 漁業者の販売力を強化し漁業所得向上を図るため、漁師直売やオンライン販売の取組を支援
- ③ 新規就業者を確保するため、漁業の魅力のPRや就業希望者への実践的な技術研修を実施 など

## 【主な成果指標】

蓄養殖等に取り組む漁業経営体数(累積)  
 17経営体(2020年) → 55経営体(2022年)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

漁業生産の安定化と水産物のブランド化について

- 漁業生産の安定化に向け、幅広い魚種の蓄養殖の技術確立を進めるとともに、漁業所得向上のための販売力の強化や水産物の高付加価値化を進めること。

秋田版蓄養殖フロンティア事業 16,989千円

漁港内でサクラマス等の養殖技術開発を行うとともに、サーモンやクルマエビ、ウニ等の蓄養殖試験に取り組む漁業者グループ等を支援するほか、クルマエビの種苗を養殖に適した時期に生産する試験を実施する。

## 目指す姿4 農山漁村の活性化

## 【令和4年度取組状況】

- ① 農山村地域の所得向上につながるよう、地域資源を生かした活性化プランづくり等を支援
- ② 新たな兼業スタイルの普及を図るため、「半農半X」体験のモニター調査を実施
- ③ 地域活動の主体となる「農山漁村プロデューサー」を育成するため、養成講座を開催 など

## 【主な成果指標】

新たな農村ビジネスの取組件数 一件(2020年) → 4件(2022年)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

地域資源を生かした多様な農村ビジネスの促進について

- 農家民宿や農家レストランなど、農山漁村の地域資源を組み合わせることにより、地域全体での農村ビジネスの集客力向上と農村関係人口の拡大を進めること。

未来へつなぐ元気な農山村創造事業 20,750千円

元気で持続的な農山村を創造するため、多様な人材の参画のもとで地域資源を生かした地域活性化を目指すプランづくりから、地域特産物のブランド化や地域資源と観光等の他分野との組み合わせによる新ビジネスの創出までを総合的に支援する。

## 戦略3 観光・交流戦略

新秋田元気創造プランの取組状況等について

## 目指す姿1 「何度でも訪れたいくなるあきた」の創出

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 観光業の生産性向上を図るため、宿泊施設での経営効率化に向けたシステム導入のほか、サービスの高付加価値化に向けた施設整備を支援
- ② データに基づいた誘客プロモーションを実施するため、県独自の観光DMP構築に向け、男鹿エリアでの実証を皮切りに宿泊者データの収集・分析に着手
- ③ インバウンド誘客について、国による水際対策の緩和を受け、最重要市場である台湾を中心に情報発信や旅行会社へのセールスを強化したほか、台湾からの直行便の誘致に向けたトップセールスを実施 など

## 【主な成果指標】

観光地点等入込客数(延べ人数)	18,360千人(2020年)	→	18,738千人(2021年)
延べ宿泊者数	2,626千人泊(2021年)	→	2,903千人泊(2022年)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

ターゲットの的確な把握と効果的な誘客プロモーションの展開について

- 戦略的なマーケティングを推進するため、旅行者データを収集、分析する基盤となる「観光データマネジメントプラットフォーム(DMP)」の構築を進めること。

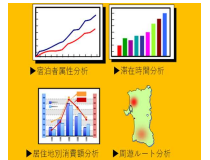


## 秋田県観光DMPの構築に向けた実証事業 42,202千円

データ分析の共通基盤となる「秋田県観光DMP」の構築に向けた実証地域における宿泊者データの収集・分析を行う。



宿泊サービスの高付加価値化に係る事例



DMP分析イメージ

## 目指す姿2 「美酒・美食のあきた」の創造

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 食品産業の振興を図るため、その指針となる「秋田県食品産業振興ビジョン」を策定したほか、食品製造業における人材育成のためのマネジメント力講座を開催や、生産性向上に向けた事業者間連携の促進、経営・生産工程などのデジタル化に係る取組を支援
- ② 県産食品の販路拡大を図るため、全国の食品バイヤーとのマッチング機会を提供したほか、首都圏向けのPRイベントの開催、台湾での物産フェアや現地商談会への出展などを実施
- ③ 欧州市場への販路開拓を進めるため、欧州最大級の食の見本市「シアルパリ2022」において、県産食品や日本酒のPR等を実施 など

## 【主な成果指標】

食品製造事業者の取引先マッチング成約件数	3件(2021年)	→	10件(2022年)
加工食品・日本酒の輸出金額	668百万円(2020年)	→	1,158百万円(2021年)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

食品製造業の振興について

- 食品製造業の生産性向上に向け、事業者間連携を進めるとともに、事業者が新分野に取り組む際には、専門家によるきめ細かな支援を行うこと。



## 食品事業者連携促進事業 5,340千円

食品事業者の連携を促進するため、リーディングカンパニーを目指す事業者への伴走支援を実施するとともに、事業者の経営規模拡大・競争力強化に係る総合窓口である伴走コーディネーターを配置する。

## 食のリーディングカンパニー育成支援事業 32,408千円

リーディングカンパニーを目指す事業者における経営規模の拡大や生産性及び企業価値の向上を図る取組に対して支援する。

マネジメント講座  
異業種交流会

シアルパリ2022

## 目指す姿3 文化芸術の力による魅力ある地域の創生

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 秋田ならではの文化資源を県内外に発信するため、文化情報サイトでオンラインによる配信の充実を図ったほか、あきた芸術劇場の開館記念式典やグランドオープン記念特別公演を実施
- ② 地域の活性化や次代の文化を担う人材の育成を図るため、文化団体が行う取組を助成したほか、若手アーティストの活動を支援する展覧会や演奏会等のアーツアーツサポートプログラムを実施
- ③ 文化芸術を通じた交流人口の拡大を図るため、若者を対象とした伝統行事等の体験型プログラムを活用したワークショップや交流型イベント「あきた無形民俗文化財万博」のほか、「あきた民謡祭」や「新・秋田の行事in男鹿2022」等の文化事業を実施 など

## 【主な成果指標】

文化事業への来場者数	69,947人(2021年)	→	277,888人(2022年)
あきた芸術劇場で開催される大規模イベント・興行数	一件(2020年)	→	98件(2022年)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

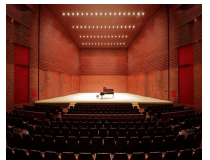
あきた芸術劇場を核とした文化芸術の発信とにぎわいづくりについて

- ミルハスを核としたにぎわいの創出に向けた取組を行うこと。



## あきた芸術劇場を活用した地域のにぎわい創出事業 16,832千円

東京藝術大学藝大フィルハーモニア管弦楽団による開館1周年記念公演のほか、周辺施設等と連携したイベントを開催する。



ミルハス大ホール

伝統芸能のステージ  
(根子番楽)

## 戦略3 観光・交流戦略

新秋田元気創造プランの取組状況等について

## 目指す姿4 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 県民のスポーツ活動を支える環境を整備するため、ライフステージに応じた運動教室の開催や統合型地域スポーツクラブの運営に対し支援したほか、新県立体育館の整備に向けた検討に着手
- ② スポーツツーリズムの推進による誘客促進を図るため、スポーツ合宿の誘致や、スポーツイベントの開催を支援
- ③ 本県スポーツの競技力向上を図るため、選手・指導者の育成・強化を行う競技団体に対し支援したほか、トップアスリートと県内企業とのマッチングサポートや雇用促進につながる支援を実施 など

## 【主な成果指標】

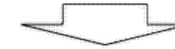
スポーツ合宿等による延べ宿泊者数 一人(2021年) → 1,430人(2022年)  
 国体における少年種別の獲得得点 81.5点(2019年※) → 214.5点(2022年)

※2020年・2021年は大会中止

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

スポーツを通じた地域づくりと交流人口・関係人口の拡大について

- トップスポーツチームを活用した地域貢献活動を進めること。

トップスポーツチームを活用した情報発信事業 29,190千円

スポーツを通じた地域活性化及び本県に係る情報発信を行うため、本県トップスポーツチームへ支援を行う。

アスリートのキャリア支援事業 23,533千円

県内で指導者を目指す現役のアスリートと企業等とのマッチングサポートを実施する。



ナマハゲの演出(Bリーグ)



県内の小学生等を対象としたサッカー教室

## 目指す姿5 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 大館能代空港東京羽田線の三往復運航の定着を図るため、秋田空港と合わせた誘客プロモーションや旅行商品の造成支援など、官民一体となって新たな需要創出につながる取組を実施
- ② 地域公共交通の利便性向上と利用の拡大を図るため、乗合バスへの交通系ICカードやバスロケーションシステムの導入のほか、市町村が取り組む新たな交通サービスの実証事業を支援
- ③ 高速道路のミッシングリンク早期解消のため、国や関係機関に対する要望活動のほか、高速道路を補完して広域交流を支える幹線道路網を整備(国道101号(竹生バイパス)) など

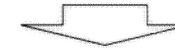
## 【主な成果指標】

大館能代空港国内定期航空路線の利用者数 45千人(2021年) → 146千人(2022年)  
 乗合バスの県民1人当たり利用回数 9.3回(2020年) → 9.6回(2021年)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

航空路線の維持・拡充について

- 世界文化遺産などの観光資源を生かし、大館能代空港の利用促進を図ること。

航空ネットワーク維持・誘客促進事業 32,660千円

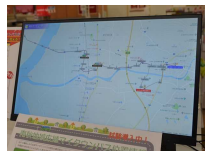
OTAの活用や航空会社等と連携した誘客拡大を進めるとともに、利用促進協議会活動を通じて官民連携による航空利用を促進する。

世界遺産を活用した誘客促進事業 9,120千円

世界自然遺産(白神山地)及び世界文化遺産(北海道・北東北縄文遺跡群)への誘客を図るため、商談会におけるPRやオンライン広告の掲出、ファミツアー等を実施する。



航空会社と連携したウェブ誘客プロモーション例



バスロケーションシステム

## 戦略4 未来創造・地域社会戦略

新秋田元気創造プランの取組状況等について

## 目指す姿1 新たな人の流れの創出

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 首都圏相談窓口等でのきめ細かな相談対応や、AI等を活用した多様な相談体制の構築により、地方移住関心層等に対するアプローチを強化
- ② 県内外の学生と企業のマッチングイベントの開催や県就活情報サイト等から先輩社会人の声を発信、新たに開催したインターンシップ等紹介セミナーなどにより、学生の就活を支援

## 【主な成果指標】

移住者数(県関与分) 576人(2020年) → 725人(2022年)



(合同就職説明会の様子)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況(令和5年度当初予算関係)】

首都圏等からの移住の促進について

- 本県の強みや移住関心層のニーズを把握しながら、移住促進に取り組むこと。
- 移住前後のサポートを強化すること。



## あきた暮らし・交流拠点設置事業 26,900千円

秋田への移住に加え、秋田に関心のある人の交流等を促進するため、首都圏における移住と就職に関する相談対応のワンストップ化や各種交流イベントの実施等により、秋田で暮らしたい、秋田とつながりたい、秋田を知りたい人たちが、気軽に立ち寄り、集うことのできる拠点を設置する。

## 目指す姿2 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 結婚を希望する独身男女を支援するため、あきた結婚支援センターが中心となり、様々な出会いの場の提供や相談への対応
- ② 趣味や各種体験等を切り口とした男女が気軽に参加できるイベントを開催するなど、より自然に異性と出会う機会を提供
- ③ 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保育料や副食費等に係る費用を助成

## 【主な成果指標】

あきた結婚支援センターへの成婚報告者数  
103人(2020年) → 130人(2022年)



〔「まずは出会いから」応援事業〕

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況(令和5年度当初予算関係)】

結婚・出産・子育てを前向きに捉える気運の醸成について

- 結婚・出産・子育てに前向きな気持ちを育むため、中学生や高校生の早い段階から、結婚や子育てについて考える機会を設けること。



## 結婚の希望をかなえる気運醸成事業(ライフプランニング学習推進事業) 1,754千円

結婚や家庭を持つことの意義、男女共同参画等について意識醸成を図るため、小学生・中学生・高校生それぞれの発達段階に応じて学び考える機会を提供する。

## 目指す姿3 女性・若者が活躍できる社会の実現

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 官民一体による女性の意識改革を図るためラウンドテーブルの開催や、県内好事例の発信による経営者の理解の促進
- ② あきたF・F推進員のスキルアップの推進のほか、地域の女性リーダー育成のための養成塾や交流会を開催
- ③ 夢の実現を目指す若者の戦略的な取組に対して、資金面や専門家からの助言等による一貫した支援

## 【主な成果指標】

民間事業所の管理職(課長相当職以上)に占める女性の割合  
19.3%(2020年) → 21.1%(2022年)

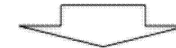


(ラウンドテーブル講演会)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況(令和5年度当初予算関係)】

あらゆる分野における女性の活躍の推進について

- 女性自身の意識改革に向けた取組の浸透に向け、県の取組などを広く周知するとともに、一層の推進を図ること。
- 女性が活躍しやすい環境や、活躍している女性が集まりやすい環境づくりを進めること。



## 咲きほこれ! あきたウーマンパワー応援事業(経営者等の理解促進・好事例発信事業)

13,750千円

女性活躍を積極的に推進する企業の好事例の映像コンテンツを制作し、多様なメディアを活用して発信するほか、男性の家事・育児参画を促進するための企業向けセミナーの開催や、企業間ネットワークの構築を進める。

# 戦略4 未来創造・地域社会戦略

新秋田元気創造プランの取組状況等について

## 目指す姿4 変革する時代に対応した地域社会の構築

### 【令和4年度の取組状況】

- ① 多様性に満ちた社会づくりに関して、複数のメディアを活用した広報・啓発及びフォーラム等を開催
- ② 複数の集落からなる新たな生活圏形成に向けて、地域運営組織や地域運営組織を目指す団体に地域づくりの各分野に精通した専門家を派遣
- ③ 県民の企画提案による取組を県と協働で行う実践モデルの創出や、市民活動サポートセンターにおいて相談対応や情報発信を行い、多様な主体による地域活動への参加を支援

### 【主な成果指標】

地域運営組織の形成数 (2020年) → 4件(2022年)



(あきた元気ムラ大交流会)

### 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

地域住民が主体となった地域コミュニティづくりについて

- 地域コミュニティの維持・活性化のため、幅広い年齢層が交流できる居場所づくりや、若者をはじめとする地域住民が主体となった活動を進めること。



**持続可能な集落対策総合推進事業（未来をつくるロカジョサークル応援事業） 3,851千円**

地域活動における女性の参画を推進するため、女性の視点から生まれる新たな活動へのアプローチやネットワークづくりを支援する。

## 目指す姿5 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成

### 【令和4年度の取組状況】

- ① 3年ぶりの「あきたエコ&リサイクルフェスティバル」、啓発動画、スマホアプリ「あきエコどんどんプロジェクト」等により、省エネ・省資源行動の定着を促進
- ② 国の「脱炭素先行地域」に、県・秋田市、大潟村提案の2件が採択
- ③ 食品廃棄物や廃プラスチックのリサイクル等の実証試験に向け、協議会を設置

### 【主な成果指標】

温室効果ガス排出抑制計画書の目標を達成している事業所の割合  
79.3% (2020年) → 81.3% (2021年)  
廃棄物の最終処分量(公共関与分) 94千t(2020年) → 90千t(2021年)



(エコフェス)



(脱炭素先行地域  
(県・秋田市))

### 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

脱炭素化に向けた県民運動の推進について

- 産業界の脱炭素化の取組状況を県民に周知すること。



**ストップ・ザ・温暖化あきた推進事業（「ストップ・ザ・温暖化あきた県民会議」活性化事業）**

702千円

温暖化防止活動の推進母体である「ストップ・ザ・温暖化あきた県民会議」を拡大して事業者等の加入を進めることとし、産業界をはじめとする各分野における取組の共有を図るとともに、事業者等による省エネ活動等への取組を「ゼロカーボンアクション宣言」として登録して県ウェブサイトで公表するなど、温暖化防止への全県的な機運を醸成する。

## 目指す姿6 行政サービスの向上

### 【令和4年度の取組状況】

- ① 行政手続きのオンライン化を推進するため、電子申請・届出サービスに電子納付機能を追加し、手数料をオンラインで支払いできる環境を整備
- ② オープンデータの公開を推進するため、庁内ワーキングを通じたデータの掘り起こしや、グラフ表示機能による視認性の向上、検索機能を強化した新たなオープンデータカタログサイトの運用を開始
- ③ 生活排水処理施設の集約化や事務の共同化を推進するため、県・市町村を構成員とした協議会を開催

### 【主な成果指標】

行政手続きの電子化率 59.6% (2021年) → 68.8% (2022年10月実績)  
オープンデータ化した県有データ数(累積) 87件(2020年) → 187件(2022年)  
生活排水処理施設を廃止し流域下水道に接続する処理区数(累積)  
16処理区(2020年) → 24処理区(2022年)

### 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

デジタル・ガバメントの推進について

- オンラインで提供するデータやサービスの拡充を一層強化すること。



**デジタルガバメント総合推進事業（E B P Mデータベース構築事業） 39,684千円**

データに基づいた政策立案力の向上を図るため、県が保有するデータ等を集約するデータベースを構築するとともに、データ分析などの手法を学ぶ職員研修を実施する。

この事業の実施により、庁内データの整理を進め、オープンデータの拡充につなげていく。

## 戦略5 健康・医療・福祉戦略

新秋田元気創造プランの取組状況等について

## 目指す姿1 健康寿命日本一の実現

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 県内企業に対して健康経営の浸透を図るため、秋田県版健康経営優良法人認定制度を実施
- ② 望まない受動喫煙が生じない機会や環境を整備するため、「あきた受動喫煙ゼロ推進キャンペーン」を実施 など

## 【主な成果指標】

秋田県版健康経営優良法人の認定数 54法人(2020年) → 139法人(2022年)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

特定健診・がん検診の受診の促進について

- 特定健診の受診率向上に向けた対策を強化すること。

健(検)診受診率向上総合対策事業（「声かけあって、みんなで受診！」健(検)診受診促進事業）

1,560千円

特定健診やがん検診の受診率向上を図るため、地域のかかりつけ医・歯科医・薬剤師やがん対策推進企業等による受診勧奨を行う。

## 目指す姿2 安心で質の高い医療の提供

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 若手医師が大学と地域の医療機関を循環しながら、キャリア形成できる体制の構築によるキャリアアップ支援
- ② 救急医療体制の充実を図るため、救急救命センター等の運営や施設・設備整備を支援 など

## 【主な成果指標】

急性期診療ネットワークへの参加医療機関数 一病院(2020年) → 8病院(2022年)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

地域医療の提供体制の整備について

- オンライン診療の普及に向けた取組を促進すること。

医療のデジタル化推進事業 43,594千円

医療のデジタル化を推進するため、オンライン診療の活用モデル構築に向けた実証事業に対し助成する。

## 目指す姿3 高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 介護従事者の負担軽減や生産性向上に向けた介護ロボット・ICT等の導入を支援
- ② 認知症の人や家族を支援する「チームオレンジ」の設置に向けた人材育成 など

## 【主な成果指標】

介護サービス事業所認証評価制度による新規認証事業者数  
4件(2020年) → 6件(2022年)

(介護用アシストスーツ)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

障害者の地域生活と社会参加に向けた環境づくりについて

- 医療的ケア児とその家族に対する総合的な支援体制の整備を促進すること。

医療的ケア児等総合支援事業（医療的ケア児支援センター事業） 16,069千円

秋田県立医療療育センターに「医療的ケア児支援センター」を設置し相談対応を行うほか、医療的ケア児支援に関する人材育成を行う。

## 目指す姿4 誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現

## 【令和4年度の取組状況】

- ① 誰も自殺に追い込まれることのない秋田を目指すため、ゲートキーパーの養成や電話・SNS等の相談窓口を設置
- ② 子どもの貧困対策に取り組む民間団体の活動を支援するため、「あきた子ども応援ネットワーク」等によりネットワーク化を促進 など

## 【主な成果指標】

子どもの貧困対策を実施する民間団体等がある市町村数  
10市町村(2020年) → 14市町村(2022年)

## 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

多様な困難を抱える人への支援について

- ヤングケアラーに関する理解を促進し、必要な支援につながる体制づくりを進めること。

「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業（ケアラー支援・普及啓発事業） 5,250千円

ヤングケアラーを含むケアラー支援のため、普及啓発や相談援助者向けの研修、SNSを活用した相談窓口の対応など、支援体制の整備を進める。



# 戦略6 教育・人づくり戦略

新秋田元気創造プランの取組状況等について

## 目指す姿1 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成

### 【令和4年度の取組状況】

- ① 県立高校等に就職支援員を配置し、県内求人の開拓や企業情報の提供、就職相談等を実施
- ② 全ての高校で最新のICT教材等を活用したプログラミング教育を実施するとともに、普通高校にデジタル技術を学ぶ「デジタル探究コース」を設置
- ③ 専門高校において、専門人材を活用した特別講義や県内企業における技術研修を実施 など



(スマート農業体験実習)

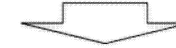
### 【主な成果指標】

高校生の県内就職率(公私立、全日制・定時制)  
72.5%(2020年) → 75.8%(2021年)

### 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況(令和5年度当初予算関係)】

高等教育機関や産業界等との連携・協働の推進について

- 高等教育機関や民間企業等と連携・協働した探究的な学習活動を推進すること。
- 民間企業等による連携先とのマッチングや指導面・技術面でのアドバイスなど様々な支援や助言を受けられる体制を整備すること。



### 秋田を支える人づくり教育推進事業(産業人材育成事業) 5,991千円

高等教育機関や地元企業との連携、専門教育の指導力を高める教員研修等の充実を図ることにより、高度な知識や最先端の技術を身に付けた人材を育成する。

## 目指す姿2 確かな学力の育成

### 【令和4年度の取組状況】

- ① 少人数学習の推進による、きめ細かな特色ある教育活動を実施
- ② ICTを活用した授業づくりに関する実践的な調査研究を行い、効果的な学習・指導方法の開発や校内研修等の取組を支援
- ③ 校務のICT化により教員の働き方改革や教育の質の向上を図るため、県立学校に統合型校務支援システムを導入 など

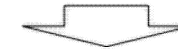
### 【主な成果指標】

大学志望達成率(公私立、全日制・定時制)  
88.3%(2020年) → 90.4%(2022年)

### 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況(令和5年度当初予算関係)】

ICTを活用した主体的・能動的な学習の推進について

- デジタル教材やオンライン上の様々なコンテンツの一層の活用促進を図ること。
- 県内のICTを活用した授業にかかわる好事例の収集・共有を図ること。



### 学力向上推進事業(あきたの教育力充実事業) 1,198千円

学習支援ポータルサイト「わか杉学びネット」を運用し、教員向けに、教育専門監等によるICTを活用した授業実践動画や授業支援ツールを提供する。

## 目指す姿3 グローバル社会で活躍できる人材の育成

### 【令和4年度の取組状況】

- ① 生徒の英語力を把握し指導改善を図るため、中学2年～高校3年生を対象に英検IBAを実施
- ② 英語での発信力、論理的思考力、英語コミュニケーション能力の向上を図るため、イングリッシュキャンプや即興型英語ディベート大会等を実施 など

### 【主な成果指標】

英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合  
39.1%(2019年) → 44.4%(2022年)  
英語ディベート交流会等への参加生徒数  
61人(2020年) → 136人(2022年)



(イングリッシュキャンプ)

### 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況(令和5年度当初予算関係)】

<該当提言なし>

### AKITAグローバル人材育成事業 130,594千円

複雑化するグローバル社会で活躍できる人材を育成するため、小中高一貫した英語教育の更なる推進により、発信力の強化や英語コミュニケーション能力の強化、教員の指導力の向上を図る。

- ① 発信力強化プロジェクト
- ② グローバルコミュニケーションプロジェクト
- ③ 指導力向上プロジェクト

# 戦略6 教育・人づくり戦略

新秋田元気創造プランの取組状況等について

## 目指す姿4 豊かな心と健やかな体の育成

### 【令和4年度の取組状況】

- ① 道徳教育の一層の改善・充実を図るため、家庭や地域との連携により様々な体験活動を実施
- ② 子どもたちの運動やスポーツへの関心・意欲を高めるため、小学校の体育授業に地域の指導者や高校教員を派遣 など

### 【主な成果指標】

自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合(小6、中3)  
83.5%(2021年) → 84.7%(2022年)  
運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合(小5、中2)  
61.6%(2021年) → 63.0%(2022年)

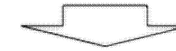


(地域人材を活用した体育授業)

### 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

教員の働き方改革の推進について

- 部活動の地域移行に向けた取組を進めること。



### 秋田型部活動支援事業（中学校部活動地域移行推進事業） 23,395千円

少子化の中でも、将来にわたり子どもたちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保するため、運動部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備を進める実証を行う。  
(総括コーディネーターの配置、市町村・関係団体等との連絡調整、市町村の体制整備への支援 等)

## 目指す姿5 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化

### 【令和4年度の取組状況】

- ① 秋田県立大学及び国際教養大学における教育研究環境の充実を図るため、両大学の運営や施設設備等の整備に対して支援
- ② 秋田県立大学の「アグリノベーション教育研究センター」を拠点にスマート農業に係る研究、人材育成、技術開発等を進めるとともに、新たに教育・研究の中核施設となる研究・管理棟を整備
- ③ 即戦力となる専門人材の育成及び県内定着を図るため、私立大学等が県内企業と連携して実施する人材育成の取組等に対して支援 など

### 【主な成果指標】

県内高等教育機関による県内企業等との共同研究・受託研究・受託事業数  
144件(2020年) → 143件(2021年)

### 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

<該当提言なし>

### 秋田県立大学アグリノベーション教育研究センター事業 330,761千円

「儲かる農業」を目指す「秋田版スマート農業モデル」を創出するため、産学官の関係者で構成するコンソーシアム(事務局:大学)が地域農業の課題や生産現場・市場のニーズを的確に把握しながら実施する、分野を超えた連携研究、高度な教育による農業人材の育成、先端技術の開発・実証・展示等に必要経費を助成する。

また、事業の適切なPDCAサイクルを構築するため、国・専門家等が事業運営等に対し助言・サポートする体制を整備するとともに、センターの活動内容等を広く県民に周知する。

## 目指す姿6 生涯にわたり学び続けられる環境の構築

### 【令和4年度の取組状況】

- ① 中高生に読書の魅力を発信するため、ビブリオバトル大会を開催
- ② 県立博物館において、デジタル技術を活用した展示解説や情報発信を強化
- ③ 世界遺産縄文遺跡群への興味・関心を高めるため、気球搭乗体験等の魅力発信イベントを開催 など

### 【主な成果指標】

県立美術館・近代美術館・県立博物館・農業科学館の利用者数  
169,596人(2020年) → 251,143人(2022年)  
国・県指定等文化財の件数 785件(2020年) → 795件(2022年)



(ビブリオバトル大会)

### 【総合政策審議会からの提言への主な対応状況（令和5年度当初予算関係）】

<該当提言なし>

### メタバース×MUSEUMあきた構築事業 27,915千円

近代美術館ホームページを入口に、最先端のデジタル技術「メタバース」による仮想近代美術館「メタバース×キンピ」を構築し、いつでもどこにいても、近代美術館の特色あるコンテンツを、現実の制約(距離・時間・物質・身体等)を超えて気軽に体験でき、誰もが豊かさを享受できるようにし、本県の良質な文化芸術に親しむ機会の充実と賑わい創出、文化遺産の保存・活用を進める。